

留 学 報 告 書

(受入れ交換留学生)

記入日：2014年2月

出身国	カナダ	
出身大学・学部	(和) 廈門大学 (中国) (英) XIAMEN UNIVERSITY (China)	
明治大学での留学期間	2013年03月～2014年02月	

日本に留学しようと決めた理由	中学校の頃から日本という国に興味を持ち始めて、13歳から日本語を独学し始めました。日本に住むのは中学校の頃からの夢です。
明治大学情報コミュニケーション学部を選んだ理由	自分が学びたい内容と一番近いからです。
情報コミュニケーション学部・学生の雰囲気	自分は情報コミュニケーション学部二年に入りました。二年生の学生たちがとても元気があったことが印象的です。勉強やサークルに対するエネルギーもすごく感じます。
宿舎の雰囲気	<input type="checkbox"/> 和泉IH <input checked="" type="checkbox"/> 狛江IH <input type="checkbox"/> その他() 狛江インターナショナルハウスは30人の交換留学生と100人以上の日本人学生が住んでいます。寮の食堂で違う国の学生と交流ができます。BBQや鍋パーティなど、交流できる活動も行われていました。
交友関係	交換留学のおかげで、いろんな国の友たちができ、いろんな異文化を知ることができました。おかげさまで、日本語も日本に来る前より随分上達しました。留学は一年間だけだったが、ここでできた友たちとの友情は今後も長く続くものだと思います。
学習内容・勉強について	自分は廈門大学新聞学部コミュニケーション学科に在籍しています。明治大学の情報コミュニケーション学部のシラバスを見て、自分の学校と似たような科目が多くて、きっと難しくないだと思いました。実際授業を受けて、知らない単語や用語が予想より多くて、授業中に電子辞書が離れなくて、とても工夫しました。
課題・試験について	交換留学生であることも原因の一つだと思いますが、勉強は忙しくなかったです。廈門大学ではほとんどの授業は期末テストがあり、期末になるととても忙しくなります。明治大学ではレポートを出せば成績もらえるような科目が多くて、期末テストが行われても量が少なく、中国の大学よりは楽です。ただ日本に来る前に、日本語でプレゼンテーションをしたことがなくて、毎回日本語で発表するときはとても緊張しました。良い経験になりました。
大学外の活動について	音楽が大好きで、日本でしか見られない色んなコンサートに行きました。

ある平日のスケジュール	9時：起床、朝食、9～12時：洗濯、部屋の掃除、12～13時：昼食、13～18時：授業、18時～19時帰宅、19時～20時：寮の友たちと夕食、20時～21時：友たちとスーパー、散歩、21時～自由時間、0時：就寝
ある休日のスケジュール	10時：起床、朝食、12時～13時：友たちと食事、13時～17時：買い物、17時～18時：夕食、18時～21時：コンサート、21時：帰宅、22時～0時：自由時間、0時：就寝
情報コミュニケーション学部で得たことや留学の感想	一年間一番の得たものは友たちだと思います。留学は一年間しかないのだが、友情はこれからも続きます。そして、日本語も昔より随分上達しました。日本に来る前は一人暮らしをしたことがなかったので、学校の勉強や言語だけでなく、日常生活のことも勉強できました。

私の時間割

春学期	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限						
2限						
3限		異文化理解・適応	日本事情ⅠB	日本語AⅠ		
4限		日本語BⅠ				
5限	比較文化(基礎)A					
6限	問題発見テーマ演習A					
秋学期	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限						
2限						
3限		情報コミュニケーション学入門B		日本語AⅡ		
4限		日本語BⅠ		ジェンダー論		
5限			総合講座(タイの社会・文化)		日本事情ⅡB	
6限						



以上